

カリキュラム・マップ

全学共通科目の教育目的

人類が過去から現在に至るまで築き上げてきた学術的知見を、広くかつ多様な観点から学習させるとともに、所属学部において専攻する学問領域の豊かな成果と交錯させながら、コミュニケーション能力や異文化への深い理解と世界に通用する知性を涵養し、自らの力で新たな課題を探究し、解決することができる学生を育成する。

学修成果

- 1) 知的柔軟性: 学問的知見の多様性と豊饒性とを十分に理解し、世界を複眼的に解釈する柔軟な知性を身につける。(「1. リベラルアーツの素養」「3. 自己を理解し発展させる力」「5. 他者を理解する姿勢」「7. リーダーシップ」「8. 国際性」と関連)
- 2) 論理的思考力: 言葉や論理を介して世界を抽象的に把握する学問が、実際に肌で触れる社会や世界の具体的な問題や現実と接点を持ち、よりよき世界の構築に貢献しうることを知り、自らもそうした能力を高めようとする。(「1. リベラルアーツの素養」「3. 自己を理解し発展させる力」「5. 他者を理解する姿勢」「7. リーダーシップ」「8. 国際性」と関連)
- 3) 視野の広さ: 所属学部の専門的な学問的成果と、他の諸学問の成果とを交錯させることで生まれる壮大な知的建造物を展望できる。(「1. リベラルアーツの素養」「3. 自己を理解し発展させる力」「5. 他者を理解する姿勢」「7. リーダーシップ」「8. 国際性」「9. 社会的実践力」と関連)
- 4) アイデンティティ: 立教大学の学生としての自覚を身につけ、後輩たちが誇れるような人物となるべく、社会の様々な分野で創造的な活動を行う力を備える。(「1. リベラルアーツの素養」「3. 自己を理解し発展させる力」「5. 他者を理解する姿勢」「6. 表現力」「7. リーダーシップ」「8. 国際性」と関連)
- 5) 強靱な精神: 人間一人一人は根源的に孤独であるがゆえに不毛なニヒリズムに落ち込む脆弱さを有するが、孤独だからこそ他者との連帯を希求できることを理性的な営為を経て理解し、孤独に耐え得る強靱な精神の必要性を弁えている。(「1. リベラルアーツの素養」「3. 自己を理解し発展させる力」「5. 他者を理解する姿勢」「7. リーダーシップ」「8. 国際性」と関連)
- 6) 共感能力: 自らの主張を論理的かつ具体的に発信する知識と知性を備えたと同時に、他者を尊重し、その悲しみや不幸を正面から受け止め、人の話に真摯に耳を傾ける優しさと感受性を有する。(「1. リベラルアーツの素養」「3. 自己を理解し発展させる力」「5. 他者を理解する姿勢」「6. 表現力」「7. リーダーシップ」「8. 国際性」と関連)

※()内は「立教大学学士課程教育の学位授与の方針」に定める学修成果項目との関連を記載。

全学共通科目のカリキュラム				全学共通科目の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)								
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1.リベラルアーツの素養	2.専門性	3.自己を理解し発展させる力	4.キャリア展望を確立する力	5.他者を理解する姿勢	6.表現力	7.リーダーシップ	8.国際性	9.社会的実践力
学びの精神	(必修) 選択科目	1(～4)	講義を受けた上で、その要点を理解して自らの考えを練り、リアクションペーパーや小レポートでそれを表現するという、高校までの勉強とは異なる大学での講義科目受講の包括スキルを体得する。	◎		○		○				
多彩な学び 1. 人間の探究	(必修) 選択科目	1～4	思想・文化・言葉という側面から人間の知に迫る。過去に書かれたさまざまな文献を読む、あるいは現代社会に広がるさまざまな事象を集め、そこから考えることで、現代人に求められる「教養」とは何かを問い、それを自らのものにする。	◎		○		○				
多彩な学び 2. 社会への視点	(必修) 選択科目	1～4	社会という側面から人間の営みに迫り、個人と社会、他者との関わり方を、政治・法学・経済学・経営学・社会学などが築いてきた方法を手がかりにして分析する。社会をひとつの視点から見ただけでなく、さまざまな角度から見つめ直していく視点を身につける。	◎		○		○	△			
多彩な学び 3. 芸術・文化への招待	(必修) 選択科目	1～4	人類が生み出してきた文学・美術・音楽・演劇・映像・建築などの作品を対象として、作品の作り手と受け手の緊張をはらんだ関係、あるいは作品を取り巻く社会的諸関係の実相に迫る。	◎		○		○	△			
多彩な学び 4. 心身への着目	(必修) 選択科目	1～4	相互に影響しあっている「心」と「身体」の問題を幅広くとらえ、心理学、メディア、健康科学、スポーツ科学の分野から理解を深め、積極的に心身の問題を掘り下げて理解する。	◎		○		○	△			
多彩な学び 5. 自然の理解	(必修) 選択科目	1～4	人類が作り出してきたさまざまな物質や技術は毎日の生活に大きな影響を与えており、人類が今までの歴史の中で得てきた科学的な知識とその基盤、およびそれらが現代の私たちにどのように密接に結びついているのかを考える。	◎		○		○				
多彩な学び 6. 知識の現場	(必修) 選択科目	1～4	大学の内外で作業を行う知的活動を通して、問題解決能力を養うとともに、現場経験から知識が構築されるプロセスに立ち会う。立教大学の社会的な使命や課題を強く意識した全学的な取り組みのために設けられている科目群で、学外とくに海外でさまざまな実践活動に携わろうとする学生が、そうした活動を学業の一部に取り込むことが可能となる。	◎		○	△	○		○	○	◎
スポーツ実習(スポーツプログラム)	(必修) 選択科目	1～4	健康を維持・増進させるための科学的知識を理解し、スポーツの実践を通じて健康づくり、運動不足の解消、体力の向上を目指す。	◎		○		○				
スポーツ実習(スポーツスタディ)	(必修) 選択科目	1～4	スポーツは言語や国境を越えて人類が今日まで築き上げた文化であり、国際人の基礎教養として、あるいは国際交流の手段として、その役割は大きい。スポーツの文化的側面を理解し、同時にその実践を通じて現代人に必要とされるコミュニケーション能力、バランスのとれた理性的確かな判断力を養成する。	◎		○		○				